



学校再開！「あいうえお」のアクションでがんばろう！

いよいよ学校が再開されました。この日を待っていた子どもたちは多いと思います。臨時休校のために、これまで新しい学級の友だちとお話をする機会が少なかったと思いますが、これから徐々に毎日を過ごすなかで友だちとも親しくなっていくことでしょう。他方で、これから悩むこともいろいろあるかと思いますが、子どもたちにとって、学校や家庭で起こる様々なでき事や経験が、次の成長のステップになります。

さて、学校生活を今以上に居心地のよいものにしていくためには秘訣（ひけつ）があります。それを「あ・い・う・え・お」を使って紹介します。

「あ」はあいさつと朝ごはんです。「おはようございます」や「ありがとうございます」が言えることが大切です。きちんとすることができれば友だちが増えます。それから、朝ごはんをきちんと食べると1日の元気が出ます。

「い」はいい返事です。作田小学校では、授業のはじまりと終わりにあいさつをしますが、代表（日直）が「今から〇〇の勉強をします。」と言ったら、ほかのみんなは声を合わせて「はい。お願いします。」と言います。このとき、はっきりした返事ができたら、「よし！がんばろう」という気持ちになります。いい返事ができたときは、相手にもがんばる気持ちが伝わり、友だちだけでなく、授業をする先生も元気になります。

「う」は、運動や歌です。新型コロナウイルスや熱中症のことが気になりますが、それぞれ十分な対策をとりながら、適度に体を動かしたり、歌を歌ったりすると、気持ちもすっきりします。

「え」は笑顔です。笑顔でいると楽しく幸せな気持ちになります。自分も楽しく幸せだけれど、笑顔を見ると、まわりの人も楽しく幸せな気持ちになります。

「お」は、思いやりです。友だちが困ったときや悲しくなっているときに、助けてあげるやさしい気持ちの言葉です。やさしい声かけをしていると、心が温かくなります。友だちにやさしくしていると、自分が困ったときや悲しいときには、友だちが助けてくれます。

この「あいうえお」のアクションで、子どもたちが友だちとお互いを知り、わかり合える素敵な関係をつくり、学校を早く元の状態にもどしていけたらと考えています。

あ	あいさつと朝ごはん	
い	いい返事	
う	運動や歌	
え	笑顔	
お	思いやり	

型があるから「型破り」、型がなければ単なる「形無し」。

2012年に57歳の若さで亡くなった歌舞伎役者の18代目中村勘三郎さんの言葉です。勘三郎さんは、生前、歌舞伎をたくさんの人に知ってもらおうと、新しい演出を取り入れたり、アメリカのニューヨークで歌舞伎を上演したりするなど、新しいことにチャレンジしていました。そんなとき、新聞記者が取材にきました。上の言葉は、記者が「あなたの演技は型破りですね。」と問いかけたときの勘三郎さんの答えであり、基本を身に付けることの大切さを教えてくれています。

作田っ子学び方三訓

読んで【目パチ】 聴いて【足ピタ】 考えて【背筋ピン】 書く

授業の場面では、まずは子どもたちにしっかり型を身に付けてほしいと考え、6月の重点を「学ぶ姿勢」とし、作田っ子学び方三訓を徹底したいと考えています。基本を身に付けた子どもたちの「型破り」に期待しています。

